

地域人材ネット

過疎地での観光地づくりと空き家再生が生み出す仕事と暮らし

加藤 潤 (かとう じゅん)

NPO法人 穎娃おこそ会 副理事長



○ 登録者情報

所在地

鹿児島県南九州市

略歴

埼玉県出身、青山学院大学経営学部卒業後、モービル石油(株)、住友林業(株)などに勤務し、多くの海外出張も経験。その後鹿児島県南九州市顛娃町へ移住し、実弟とともに観光養殖場「タツノオトシゴハウス」を開業。NPO法人顛娃おこそ会を通じての観光地づくりのほか、移住者受け入れ、空き家再生、創業支援などに取り組む。2018年にはNPO法人の株式会社として収益事業を担いつつ地域課題解決に取り組む(株)オコソコを立ち上げた。シーホースウェイズ(株)専務取締役、NPO法人顛娃おこそ会副理事長、(株)オコソコプロデューサー、全国空き家バンク推進機構特別調査員、鹿児島県観光立県推進委員など。受賞歴:2014年総務省過疎地域自立活性化優良事例表彰 総務大臣賞。2015年国土交通省地域づくり表彰 全国地域づくり推進協議会会長賞。2016年JTB交流文化賞 団体部門優秀賞。2017年総務省ふるさとづくり大賞総務大臣賞。2018年MBC(南日本放送)賞。2019年鹿児島県空き家活用コンテスト最優秀賞など。いずれもNPO法人顛娃おこそ会として受賞。

著書・論文等

- 小さなまちづくりのための空き家活用術 建築資料研究社(2017/1/11) 共著
- 通りからはじまる“まち”のデザイン(空き家活用術2) 建築資料研究社(2019/2/20) 共著
- 石垣商店街 空き家再生ものがたり NPO法人顛娃おこそ会(2018/2/25)
- 建築・不動産との連携で取り組むまちづくり空き家再生入門 NPO法人顛娃おこそ会(2019/2/25)
- まちづくり空き家再生解体新書 NPO法人顛娃おこそ会(2021/2/25)

○ 過疎地での観光地づくりと空き家再生が生み出す仕事と暮らし

取組の内容

東京での商社勤務から鹿児島県南九州市顛娃町へ移住し、実弟とともに観光養殖場「タツノオトシゴハウス」を開業、観光地ではなかった顛娃において、観光業者ではない地域メンバーを巻き込んだ活動などを通じ、これまで町外来訪者がまばらだった顛娃町が年間15万人の来訪者を迎えるまでになるなど観光を活かした地域づくりに貢献。行政と連携し地域おこし協力隊制度の運用に務めるほか、町内の石垣商店街を中心に、NPOを通じて10軒の空き家を再生し、移住者とともに交流拠点や宿を運営するなど、移住、創業、空き家活用分野にも注力。2018年にはNPO法人の株式会社として地域課題解決に取り組む(株)オコソコを立ち上げ、行政支援を通じてNPO内に生まれた事業を移管し、ソーシャルビジネスとしての持続自走的な運営を図っています。

また2015年頃から活動が始まった空き家再生分野においては、元木材商社・ハウスメーカー(住友林業(株))での経歴と、サラリーマン時代に趣味だったDIYスキルを活かし、建築実務を担うとともに、プロジェクトリーダーを務めています。昨今はDIYのスキルを活かすべく、空き家再生の現場において、職人としても作業もこなしながら、契約、登記、建築、行政連携、創業などのアドバイスを行うなど、空き家再生よろず相談、コミュニティ大工とでもいう領域を開拓中。県内外各地の空き家再生を通じた地域づくり活動の支援のほか、講師や研修会のアドバイザーとしての活動も行っています。



「空き家再生研究所」での改修ワークショップの様子



空き家を再生したゲストハウスを会場として開催した空き家再生講座の様子

実績

○観光地づくり: 県外来訪者ほぼゼロから、番所鼻自然公園は年間8万人、釜蓋神社は年間15万人が来訪する観光地へ。

○移住者受け入れと創業支援: NPO法人頼娃おこそ会が行政と連携して受け入れた協力隊員などの移住者3名は2021年1月現在で全員が地域に定住、創業した。現在も数名が在籍中で創業に向けて活動しています。

○(株)オコソコの立ち上げ: NPO法人頼娃おこそ会の株式子会社として2018年に立ち上げ。2020年度は売上1000万円。

○空き家再生: 頼娃おこそ会がサブリース運用し再生した空き家は2020年末現在で10軒。交流拠点、ゲストハウス、カフェ、シェアオフィス、シェアハウスなどに活用。

工夫した点や苦労した点

観光地でないまちでの観光地づくりでは、農家や商店主、主婦など観光業者以外との連携に努めたり、経済原理では解決不能な空き家問題では、不動産・建築・まちづくりを融合することで再生を図るなど、官民、地域の連携推進と、既存の業界常識とは異なるアプローチを取るべく努めています。

ひとつとPR

活動の根幹にあるのは、境界線ではなく「共界線の創造」。官と民、ソフトとハード、プロと素人、不動産と建築など、異なる領域を繋ぎ双方の重なりあう部分で良い塩梅の連携を生み出すことこそが、人口減少社会の処方箋であり、そんな新たな変化は過疎地から生まれると思っています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

NPO法人頼娃おこそ会	https://ei-okosokai.jimdofree.com/
(株)オコソコ	https://okosoco-japan.com/
加藤 潤 Facebook	https://www.facebook.com/jun.kato.1088/

連絡先

メールアドレス	junkato〔アットマーク〕seahorseways.com		
---------	---------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。